



8月のえんだより



2025年8月1日 十和田めぐみ保育園長

～ 夏真っ盛り ～

全国各地、記録的猛暑が毎日のように続き、雨が降らずに水不足が心配されています。園内の草花やひろばの芝生も干上がる寸前です。

子どもたちも、毎日熱中症予防など、体調管理に気を配りながら保育を行っています。

しかし、この時期、暑さを気にしてばかりいて、夏ならではの魅力的な遊びができないままではもったいない！！子どもたちも「今日プール？」「水着きる？」などと、この熱さに負けないくらい元気に、夏の遊びを楽しみながら過ごしています。



保育園の園庭やお山には井戸水をポンプでくみ上げているので、惜しみなく水遊びができて幸せです。

職員は、夏が始まる前に「夏の遊び」を研究しアイデアを出し合いました。プール遊びを始め、塩ビ管で水を流すピタゴラスイッチや、ダイラタンシー、氷水や、手づくりのシャボン玉に寒天石鹸など、毎日、色んな遊びで子どもたちを楽しませています。子どもも先生達も一緒にはしゃぐ声が聞こえてきて、園庭が賑やかです！おうちの方に用意していただいた水着が大活躍です。準備や毎日のお洗濯、着替えの補充等、本当にありがとうございます！まだまだ、暑さは続きそうですので、引き続き、水遊びの準備、引き出しの確認等よろしくお願いいたします。

さてこれまで比較的涼しかったホールにも、国の緊急安全対策補助金が出たので、今年の春にエアコンを設置しました。これで全クラスにエアコンが設置されました。エアコンの設定温度は27～28度程度にして子どもたちの身体が冷えすぎないように調節をしながら、長時間使用するのを避け、扇風機も併用しています。

子どもたちには暑い時には自分の判断で服を脱ぎ着できるように声掛けをしています。また、職員は、大人の体感ではなく、温度計を見て室内の温度を調節しています。なかなか、一人一人に合わせることは難しいのですが、個々の様子をしっかりと把握しながら、体調を崩さないように気をつけています。水分補給は、いつでも水を飲んでいいのですが、それだと飲まずに過ごす子もいるので、麦茶を飲む時間も設けています。また、熱中症予防には朝ご飯がより一層大切ですので、しっかり食べてこられるようによろしくお願いいたします。

まだまだ、暑い夏が続きそうです。お気づきの点がありましたら、遠慮なくお知らせくださいませ。

お知らせ

今月の予定

- 1日(金) 夏祭りごっこ遊び
- 11日(月) 山の日
- 12日(火)～16日(土)お盆期間
- 16日(土) 稲生川灯ろう流し
- 18日(月) レイン先生との活動(うぐいす)
- 20日(水) 8月のお誕生会
- 25日(月) レイン先生との活動(ひばり)
- 30日(土) 育児講座(お茶会)

三本木高校茶道部さん来園

うぐいすさんとその保護者対象。

※ じゃが芋収穫を予定しています。日程が決まりましたらお知らせいたします

★ 稲生川灯ろう流しのお知らせ

8月16日(金)午後7時～「稲生川灯ろう流し」があります。

夏まつりを日中に行うようになってから、園で灯ろう流しができず残念に思っていたところ、3年前から太素顕彰会事務局(十和田市商工会議所内)様から灯ろう流し参加のお誘いをいただいています。

太素顕彰会様の灯ろうと一緒に、クラスで子どもたちが製作をしている灯ろうも一緒に流して頂けることになっています。

ご家族の願いごとを乗せて夜の川に流れる灯籠の美しい風情をご家族皆さんで楽しんでいただけたらと思います。

★参加ご希望の方は、太素顕彰会様からいただいた灯籠キット(クリアファイル)を玄関に置いておきます。持ち帰り、親子でお絵描きなど楽しんで、8月5日(火)ごろまでに園に持ってきてくださいね。

★ 9日～16日お盆期間中お休み調査

お盆中のお休み調査のご協力ありがとうございました。

提出していただいた調査票をもとに、給食材料の発注や職員の配置をするため、急な登園にはご対応できない場合もありますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

今回から、お休み調査の回答を保護者の皆様にも確認していただけるよう、入力したメールアドレスに回答のコピーが送られています。お休みの回答が分からなくなった場合は、事務室までお尋ねください。

★ 野菜の収穫 ★

今年も各クラスの畑は豊作です。トマト、きゅうり、なす、キャベツ、大根など…。

クラスでお料理をしたり、給食に加えて貰ったりして、美味しくいただいています。時にお子様が持ち帰ることもあるかと思うので、ぜひ、お子さんと一緒に、お料理をして一緒に召し上がりながら、栽培や収穫の話題で楽しんでいただけると嬉しいです。

★ 職員異動、退職のお知らせ(7月31日)

・未満児担任の佐々木心優がちとせ小学校なかよし会に異動になりました。

・未満児担任の後藤陽子が転居のため退職となりました。

在職中は大変お世話になり、ありがとうございました。

めぐみニュース

お泊まり保育(7月5～6日)

うぐいすさんにとって、親元から離れてのお泊まり。ワクワクと緊張の2日間です。

事前にグループごとに集まって、夕食のメニューや買い物について話し合いをしました。

当日午前中、近くのマエダストアさんへお買い物に行きました。グループの仲間とで頭をくつつけながらカゴの中を覗き込んで、足りない食材は？お金足りるかな？お肉の種類についていろいろあるねなど、自分たちで話し合い、買い物をしました。迷ったり悩んだりしながらも、楽しそうでしたよ。

お昼寝から起きてお米をとぎ、買ってきた食材を使ってお料理を作り始めました。どのグループも「うちのが一番美味しい」と自慢の夕食になりました。キャンプファイヤーに、花火、夜の散歩、そして・・・「肝試し」。盛りだくさんのお楽しみのおかげで夜はぐっすりでした。

朝は、流しそうめんに、子どもたちの興奮は止まらず、お腹いっぱい食べました。

最後は、毎年恒例スイカを持っての写真撮影。ひとまわり大きくなったようなうぐいすさん達でした。



ふれあい教室(7月24日)

廊下に展示してある昆虫標本を製作している竹林さんによる「むしとのふれあい教室」がありました。

先月の育児講座では、竹林さんと駒っころンドへ行き、一緒に様々な虫探しをして楽しみました。この面白さを、園の子どもたちにも、見せたい、触らせてあげたいと思い、園での「ふれあい教室」を開きました。子どもたちが大好きな珍しいクワガタムシやカブトムシをはじめ、カナブンや日本ザリガニ、メダカなど、数十種類の生き物に、子どもたちの目はキラキラでした。

この日のために山へ行き、採取してくださった昆虫もありました。子どもたちからの質問に答えていただきながら、あっという間の楽しい1時間でした！年々、虫の減少や、規制によって採取が難しくなっていることなどをまじえて、自分と同じく虫が好きな子が一人でも増えてくれたらいいなとおっしゃっていました。今回捕まえてきた虫は、子どもたちに見せた後、元の山に返してくるそうです。そういう竹林さんの姿から、生き物を大事にする心も子どもたちに教えて行きたいと思いました。



かわいいつぶやき

流しそうめん

うぐいすさんのお泊り保育開けの朝は、恒例の流しそうめんです。

「こまどりさんや、ひばりさんにもたべさせたかったなあ」と、優しいうぐいすさんたちの声が聞こえていました。うぐいすさんたちの思いを込めて、7月9日のお昼に流しそうめんをやってあげました。

かわいいつぶやきを拾いたかったのですが、「わ～、とれた、おちた、もっと～」という歓声ばかりでした(^_^;)。

ひばりさんになると、場所によってすくにくいのが分かる子は、流れの方向と反対の手に箸を持ち、掬って食べていました。取りづらいのでは・・・という心配はよそに、意外と上手にすくっていました。楽しい流しそうめんの中で、生きる力を見たような気がします。また、やってあげたいなあ♪



ダンス教室(7月22日)

毎週火曜日のバレエ教室で教えに来てくださっている、講師の服部明子先生と一緒に、ダンスを楽しみました。先生の動きを真似てみたり、自分で好きなポーズを考え、かつこ良さや、可愛いポーズなどの好きな動きを表現しました。意外なことに恥ずかしがる子もなく、とにかく楽しんで参加していたのが印象的でした。

また、ペアのお友だちと、ギャロップ(横移動のステップ)や、お互いに向かい合いながら座り、足の裏を合わせてお山を作ってみたりと、息を合わせなければ上手くいかない動作も、積極的に楽しんでいました。

途中、バレエ教室で教わっている子たちにお手本を見せてもらいましたが、それに負けじと、他の子どもたちも競い合いながら楽しんでいましたよ。

職場体験・ボランティア

三本木中学校の生徒さん4名が職場体験「トライやる」活動で遊びに来てくれました。また、夏まつりには三本木高校の生徒さん11名もボランティア活動を通しお手伝いに来てくださいました。

子どもたちも、大きいお兄さんお姉さんと一緒に遊べることをとても喜んでいました。中学生さんとは、絵本を読んでもらったり、ブッロクあそびを一緒にしたり、体力があるお兄さんたちが、本気で鬼ごっこをしてくれたりするのは、子どもたちの心に1番残ったようです。とっても明るくやさしい生徒さんたちでした。また、夏祭りでは、やさしく言葉を掛けてくれながら、言葉やお金のやり取りを教えて下さっていました。子どもたちは、やさしくされたことで、お兄さんお姉さんに憧れて、優しく育ってくれると思います。

学生の受入れは、実習生の育成、地域のキャリア教育への協力、職員の保育の向上にも繋がります。今後も、どんどん受け入れていきたいと思っています。

卒園児さんも多く、大きくなった姿を見せに来てくれてとても嬉しかったです。



夏祭り(7月26日)

暑さが少しだけ過ごしやすい中での夏祭りになりました。子どもたちは、この日を何日も前から楽しみにしていました。

手にはしっかりと財布とゲーム券を持ち、また、可愛い浴衣や甚平を着て気持ちもマックス♪。いつもと違う雰囲気にはしゃぎでした。綿あめに、ロリポップ、ヨーヨーつりに、人形すくいと…。ゲーム券がいくらあっても足りないくらいに、あちこち回って歩きお土産をゲットしていましたね。

この夏まつりは、楽しみとともに、遊びながら社会の仕組みを体験できる場になるように組み立てています。

「〇〇ください」「いくらですか」などの言葉のやり取りや、お金のやり取りなど、楽しく体験できるいい機会です。親御さんの中には、お子様が自分で出来るようにと、1つ1つ教えながら、考えて買い物が出来るよう促がしている姿もあり、嬉しく思いました。

このような体験から、考えることの面白さを実感し、また親御さんもお子さんとの関わりを持って子育てを楽しんでいただけならなと感じながら、短い時間のお祭りでしたが、楽しいことがぎゅっと凝縮されたお祭りでした。

